

## ◆年間指導計画例 【3年】

領域〈系統〉教材名	月	学習目標	評価規準例（◎は重点）
読む〈詩（巻頭詩）〉 生命は	4	・効果的な表現に注意して内容を解釈し、読み方を工夫して音読する。	[ 思判表 ] ◎「読むこと」において、詩の構成や展開、表現の仕方について評価している。 [ 主 ] ・進んで表現に注意して内容を解釈し、学習課題に沿って、工夫して音読しようとしている。
読む〈言葉の学習〉 二つのアザミ	4	・読み取ったことをもとに、言葉と自身自身との関わりなどについて自分の考えを持つ。	[ 知技 ] ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、文章を読むことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 [ 思判表 ] ◎「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、言葉について、自分の考えを持っている。 [ 主 ] ・進んで読み取ったことをもとに考えを広げたり深めたりし、学習課題に沿って自分の考えを伝え合おうとしている。
読む〈言語感覚〉 俳句の読み方、味わい方／俳句五句	5	・表現の工夫に注意しながら情景や心情を想像し、俳句を読み味わう。 ・俳句のよさを評価して、鑑賞文をまとめる。	[ 知技 ] ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、俳句を鑑賞することを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 [ 思判表 ] ◎「読むこと」において、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 [ 思判表 ] ◎「読むこと」において、俳句の構成や表現の仕方について評価している。 [ 主 ] ・進んで表現の工夫に注意しながら俳句に詠まれた情景や心情を想像し、学習課題に沿って、俳句のよさを評価して、鑑賞文にまとめようとしている。
書く〈詩歌創作〉 俳句を作って句会を開こう	5	・俳句を作って互いに読み合い、作品のよさを評価する。	[ 思判表 ] ◎「書くこと」において、読み手からの助言などを踏まえ、自分の俳句のよい点や改善点を見いだしている。 [ 主 ] ・積極的に俳句を詠み、学習課題に沿って作品のよさを評価しようとしている。
言葉〈日本語探検〉 和語・漢語・外来語 ——お化けの館でクイズ対決	5	・和語・漢語・外来語の特徴について理解する。	[ 知技 ] ◎和語、漢語、外来語を使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 [ 主 ] ・進んで和語、漢語、外来語について理解し、見通しを持って学んだことを話や文章の中で生かそうとしている。
言葉〈漢字道場〉 他教科で学ぶ漢字(1)	5	・他教科で学ぶ語句に用いられる漢字について理解し、漢字を文や文章の中で使う。	[ 知技 ] ◎他教科で学ぶ語句に用いられる漢字について理解し、漢字を文や文章の中で使っている。 [ 主 ] ・進んで他教科で学ぶ語句に用いられる漢字について理解し、学習課題に沿って学んだことを文や文章の中で生かそうとしている。
読む〈文学一〉	6	・場面ごとの人物の考えや人物どうしの	[ 知技 ] ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、文章を読むことを通して、語

形		<p>関係を捉えて、作品を読み味わう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・場面の展開や表現の仕方に着目し、作品を批評する。</li> </ul>	<p>感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>[ 思判表 ] ◎「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、小説の展開の仕方などを捉えている。</p> <p>[ 思判表 ] ◎「読むこと」において、場面の展開や表現の仕方について評価している。</p> <p>[ 主 ] ・進んで人物の考えや人物どうしの関係を捉え、学習課題に沿って、場面の展開や表現の仕方に着目しながら作品を批評しようとしている。</p>
学びの扉／学びを支える 言葉の力〈文学的な言葉の力——解釈する力〉 人物どうしの関係に着目する	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人物の特徴や、人物どうしの関係の変化、象徴を捉える。</li> </ul>	<p>[ 思判表 ] ◎「読むこと」において、人物の特徴や、人物どうしの関係、象徴に着目して、物語の展開の仕方などを捉えている。</p> <p>[ 主 ] ・進んで人物の特徴や、人物どうしの関係、象徴について理解し、学習課題に沿って物語を読み深めようとしている。</p>
読む〈文学一〉 百科事典少女	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場面ごとの人物の考えや人物どうしの関係を捉えて、作品を読み味わう。</li> <li>・場面の展開や表現の仕方に着目し、作品を批評する。</li> </ul>	<p>[ 知技 ] ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>[ 思判表 ] ◎「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、小説の展開の仕方などを捉えている。</p> <p>[ 思判表 ] ◎「読むこと」において、場面の展開や表現の仕方について評価している。</p> <p>[ 主 ] ・進んで人物の考えや人物どうしの関係を捉え、学習課題に沿って、場面の展開や表現の仕方に着目しながら作品を批評しようとしている。</p>
話す・聞く〈聞く〉 評価しながら聞こう	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話の内容や表現の仕方を評価しながら聞き、自分の考えを広げる。</li> </ul>	<p>[ 知技 ] ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。</p> <p>[ 思判表 ] ◎「話すこと・聞くこと」において、話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現の仕方を評価して、自分の考えを広げたり深めたりしている。</p> <p>[ 主 ] ・話の内容や表現の仕方について評価の観点を探すことに粘り強く取り組み、学習課題に沿って、評価しながら話を聞こうとしている。</p>
言葉〈日本語探検〉 間違いやすい敬語—— 宇宙人の先生がいらっし やられる？	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・間違いやすい敬語と、正しい敬語の使い方について理解し、敬語を適切に使う。</li> </ul>	<p>[ 知技 ] ◎敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使っている。</p> <p>[ 主 ] ・進んで間違いやすい敬語とその正しい使い方について理解し、見通しを持って正しい敬語を話や文章の中で使おうとしている。</p>
言葉〈漢字道場〉 熟語の構成・熟字訓	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・熟語の構成や熟字訓について理解し、漢字を文や文章の中で使う。</li> </ul>	<p>[ 知技 ] ◎熟語の構成や熟字訓について理解し、漢字を文や文章の中で使っている。</p> <p>[ 主 ] ・進んで熟語の構成や熟字訓について理解し、学習課題に沿って学んだことを文や文章の中で生かそうとしている。</p>
学びの扉／学びを支える	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文と文との関係を考えながら、文章を</li> </ul>	<p>[ 知技 ] ・説明的な文章の特徴について理解を深めている。</p>

言葉の力〈論理的な言葉の力——分析する力〉 論理的に読む		論理的に読む。	<p>[ 知技 ] ◎根拠の関係、解説の関係、反対の関係など、情報と情報との関係について理解を深めている。</p> <p>[ 思判表 ] ◎「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理の展開の仕方などを捉えている。</p> <p>[ 主 ] ・進んで説明的な文章の読み方について理解し、学習課題に沿って、文章全体を通しての問いと答えや、文と文との関係を捉えようとしている。</p>
読む〈構成・展開〉 絶滅の意味	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論の進め方や説明の仕方について考える。</li> <li>・人間と自然との関わりについて考え、自分の意見を持つ。</li> </ul>	<p>[ 知技 ] ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>[ 知技 ] ・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。</p> <p>[ 思判表 ] ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理の展開の仕方などを捉えている。</p> <p>[ 思判表 ] ◎「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。</p> <p>[ 思判表 ] ◎「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見を持っている。</p> <p>[ 主 ] ・進んで論の進め方や説明の仕方について考え、学習課題に沿って自分の意見を書こうとしている。</p>
学びの扉／学びを支える 言葉の力〈文学的な言葉の力——表現する力〉 素材を生かして表現する	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験と知識を組み合わせ、効果的に表現する。</li> </ul>	<p>[ 思判表 ] ◎「書くこと」において、表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりして、分かりやすく伝わる文章になるように工夫している。</p> <p>[ 主 ] ・進んで素材となる体験や知識の組み合わせ方について理解し、学習課題に沿って効果的に表現しようとしている。</p>
書く〈伝達〉 編集して伝えよう—— 「環境」の新聞	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境について調べたいテーマを決め、集めた材料を検討し、伝えたいことを明確にする。</li> <li>・伝える目的や内容に適した文章の種類を選択し、構成や表現を工夫して書く。</li> </ul>	<p>[ 知技 ] ・文章の種類とその特徴について理解を深めている。</p> <p>[ 知技 ] ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。</p> <p>[ 知技 ] ・情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。</p> <p>[ 思判表 ] ◎「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。</p> <p>[ 思判表 ] ◎「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。</p> <p>[ 思判表 ] ・「書くこと」において、表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫している。</p> <p>[ 主 ] ・積極的に集めた材料を検討し、学習の見通しを持って、文章の種類を選択したり構成を工夫したりしながら新聞記事を書いている。</p>
言葉〈日本語探検〉 連語・慣用句——西部	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連語や慣用句について理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨</li> </ul>	<p>[ 知技 ] ◎連語や慣用句について理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p>

劇の世界へ行こう		き語彙を豊かにする。	[主]・進んで連語や慣用句について理解し、見通しを持って学んだことを話や文章の中で生かそうとしている。
言葉〈漢字道場〉 四字熟語	7	・四字熟語について理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。	[知技]・四字熟語について理解し、漢字を文や文章の中で使っている。 [知技]◎四字熟語について理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 [主]・進んで四字熟語について理解し、見通しを持って学んだことを話や文章の中で生かそうとしている。
読む〈読書〉 恩返し <small>の井戸を掘る</small>	7	・読んだ本について感想を交換し、知識を広げ、自分の考えを深める。	[知技]◎自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。 [思判表]◎「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見を持っている。 [主]・進んで読書の意義について理解を深め、これまでの学習を生かして、読書会で感想を交換しようとしている。
読む〈吟味・判断〉 幸福について	7	・文章に表れている考えを捉え、吟味する。 ・文章を読んで自分の考えを持ち、議論の仕方を踏まえて話し合う。	[知技]・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 [知技]・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 [思判表]◎「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 [思判表]◎「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間や社会について、自分の意見を持っている。 [主]・進んで文章に表れている考えを吟味し、学習課題に沿って自分の考えを持ち、議論しようとしている。
学びの扉／学びを支える 言葉の力〈論理的な言葉の力——整理する力〉 多面的に捉える	7	・話し合ったり比較したりして、物事を多面的に捉える。	[思判表]◎「書くこと」において、話し合いや比較を通して物事を多面的に捉えている。 [主]・進んで物事を多面的に捉えることについて理解し、学習課題に沿って話し合ったり比較したりしようとしている。
書く〈論証・説得〉 観察・分析して論じよう——「ポスター」の批評文	8	・批評の対象について、観察・分析したり、比較したりして、自分なりの判断を下す。 ・論の進め方を考え、資料を参考にしたり引用したりして、説得力のある批評文を書く。	[知技]・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 [知技]・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 [思判表]◎「書くこと」において、批評の対象を観察・分析したり比較したりして、伝えたいことを明確にしている。 [思判表]◎「書くこと」において、表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考え

			<p>が分かりやすく伝わる文章になるように工夫している。</p> <p>[主]・批評の対象を多面的に捉えることに粘り強く取り組み、学習の見通しを持って説得力のある批評文を書こうとしている。</p>
<p>学びの扉／学びを支える 言葉の力〈対話的な言葉の 力——伝え合う力〉 相手や目的に応じて伝える</p>	8	<p>・相手や目的に応じて適切な話題を選択し、分かりやすく説明する。</p>	<p>[思判表]◎「話すこと・聞くこと」において、相手や目的に応じて、話題や、内容の組み立て、表現を工夫している。</p> <p>[主]・進んで相手や目的に応じた説明の仕方について理解し、学習課題に沿って話題を選んだり、内容を整理したり、表現を工夫したりしようとしている。</p>
<p>話す・聞く〈話す〉 場面に応じて話そう ——条件スピーチ</p>	9	<p>・自分の考えを明確にし、相手や目的に応じて話の内容や構成を工夫する。</p> <p>・場の状況に応じて、自分の思いや考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫する。</p>	<p>[知技]・敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使っている。</p> <p>[知技]・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。</p> <p>[思判表]◎「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えを明確にし、話の構成を工夫している。</p> <p>[思判表]◎「話すこと・聞くこと」において、場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫している。</p> <p>[主]・相手や目的に応じた話の内容や構成を考えることに粘り強く取り組み、学習の見通しを持って、自分の思いや考えを分かりやすく伝えようとしている。</p>
<p>言葉〈文法の窓／文法解説〉 曖昧な文・分かりづらい文——謎の予告状</p>	9	<p>・文の成分の順序や照応など文の構成について理解する。</p>	<p>[知技]・文の意味が曖昧になる原因を考えることを通して、語感を磨いている。</p> <p>[知技]◎文の成分の順序や照応など文の構成について理解している。(2年(1)才)</p> <p>[主]・進んで文の成分の順序や照応など文の構成について理解し、学習課題に沿って学んだことを話や文章の中で生かそうとしている。</p>
<p>言葉〈漢字道場〉 送り仮名</p>	9	<p>・送り仮名の付け方について理解し、漢字を文や文章の中で使う。</p>	<p>[知技]◎送り仮名の付け方について理解し、漢字を文や文章の中で使っている。</p> <p>[主]・進んで送り仮名の付け方について理解し、学習課題に沿って学んだことを文や文章の中で生かそうとしている。</p>
<p>読む 詩 初恋</p>	9	<p>・表現の特徴を捉え、リズムを感じ取りながら朗読する。</p>	<p>[思判表]◎「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、詩の構成や展開の仕方などを捉えている。</p> <p>[主]・進んで詩の表現の特徴を捉え、学習課題に沿って、リズムを感じ取りながら朗読しようとしている。</p>
<p>古典 万葉・古今・新古今</p>	9	<p>・和歌が詠まれた背景や作者の心情を想像しながら音読し、和歌の世界に親しむ。</p> <p>・和歌の意味や使われている技法に注意して、鑑賞文をまとめる。</p>	<p>[知技]◎歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。</p> <p>[思判表]◎「読むこと」において、和歌の構成や表現の仕方について評価している。</p> <p>[主]・進んで和歌を音読して古典の世界に親しみ、学習課題に沿って、意味や技法などに注意しながら鑑賞文をまとめようとしている。</p>

<p>古典 おくのほそ道</p>	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当時の状況や作者の思いを捉え、古典の世界に親しむ。</li> <li>・構成や表現の特徴と、その効果について考える。</li> </ul>	<p>[ 知技 ] ◎歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。</p> <p>[ 思判表 ] ◎「読むこと」において、文章の構成や表現の仕方について評価している。</p> <p>[ 主 ] ・進んで古典を読んでその世界に親しみ、学習課題に沿って、文章と句が組み合わされていることの効果について話し合っている。</p>
<p>古典 論語</p>	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古典の言葉を読み味わい、自分の文章に生かす。</li> <li>・古典の言葉を引用し、自分の考えを書く。</li> </ul>	<p>[ 知技 ] ◎長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。</p> <p>[ 思判表 ] ◎「書くこと」において、表現の仕方を考えたり古典の言葉を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫している。</p> <p>[ 思判表 ] ・「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見を持っている。</p> <p>[ 主 ] ・進んで長く親しまれている言葉を読み味わい、学習課題に沿って、古典の言葉を引用しながら自分の考えを書こうとしている。</p>
<p>言葉〈日本語探検〉 言葉の移り変わり—— タイムマシンで出発！ 言葉の昔へ</p>	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉の変化について理解する。</li> </ul>	<p>[ 知技 ] ◎時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解している。</p> <p>[ 主 ] ・進んで言葉の変化について理解し、課題意識を持って学んだことを話や文章の中で生かそうとしている。</p>
<p>言葉〈漢字道場〉 他教科で学ぶ漢字(2)</p>	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他教科で学ぶ語句に用いられる漢字について理解し、漢字を文や文章の中で使う。</li> </ul>	<p>[ 知技 ] ◎他教科で学ぶ語句に用いられる漢字について理解し、漢字を文や文章の中で使っている。</p> <p>[ 主 ] ・進んで他教科で学ぶ語句に用いられる漢字について理解し、学習課題に沿って学んだことを文や文章の中で生かそうとしている。</p>
<p>読む〈文学二〉 故郷</p>	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の思いについて考えながら、作品を読み深める。</li> <li>・作品を読んで考えを深め、社会の中で生きる人間について、自分の意見を持つ。</li> </ul>	<p>[ 知技 ] ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>[ 思判表 ] ◎「読むこと」において、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。</p> <p>[ 思判表 ] ◎「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間や社会について、自分の意見を持っている。</p> <p>[ 主 ] ・進んで人物の思いについて考えながら作品を読み深め、学習課題に沿って考えたことを話し合おうとしている。</p>
<p>読む〈読書〉 何のために「働く」のか</p>	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書を通して自分の生き方や社会との関わり方を考え、自分の将来について考えを持つ。</li> </ul>	<p>[ 知技 ] ◎自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。</p> <p>[ 思判表 ] ◎「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間や社会について、自分の意見を持っている。</p>

			[主]・進んで自分の生き方や社会との関わり方について考え、これまでの学習を生かして、自分が関心のある働き方や仕事について調べようとしている。
読む〈言葉とメディア〉 いつものように新聞が 届いた——メディアと 東日本大震災	11	・情報やメディアの意義について考えを 深める。	[思判表]◎「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見を持っている。 [主]・進んで情報やメディアについて考えを深め、学習課題に沿って考えたことを話し合おうとしている。
学びの扉／学びを支える 言葉の力〈論理的な言葉の 力——議論する力〉 合意を形成する	11	・お互いの意見の共通点やよい点を見つ けて、合意を形成する。	[思判表]◎「話すこと・聞くこと」において、お互いの発言を生かしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。 [主]・進んで合意形成の仕方を理解し、学習課題に沿ってお互いの意見の共通点やよい点を見つけようとしている。
話す・聞く〈話し合う〉 話し合いで意見をまと めよう——合意形成を 目指す話し合い	12	・多様な考えを想定し、伝えたい内容に ついて検討する。 ・進行の仕方を工夫したり、お互いの意 見を生かしたりして話し合い、合意を 形成する。	[思判表]◎「話すこと・聞くこと」において、目的に応じて社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 [思判表]◎「話すこと・聞くこと」において、進行の仕方を工夫したり、お互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。 [主]・積極的に多様な考えを想定して伝えたい内容を検討し、学習の見通しを持って、お互いの意見を生かしながら話し合おうとしている。
書く〈感性・想像〉 今の思いをまとめよう ——時を超える手紙	12	・中学校生活を振り返ったり将来を展望 したりして、自分の思いを手紙にまと める。 ・下書きした手紙を読み返し、文章を整 えて清書する。	[思判表]◎「書くこと」において、表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫している。 [思判表]◎「書くこと」において、目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えている。 [主]・積極的に書きたい内容を考え、学習の見通しを持って手紙を書きあげようとしている。
言葉〈文法の窓／文法解 説〉 文法のまとめ——怪盗 Xから名品を守れ	1	・単語の活用、助詞や助動詞などの働き について理解を深め、文法の復習をす る。	[知技]・文法的な性質の異なる語の見分け方を理解することを通して、語感を磨いている。 [知技]◎単語の活用、助詞や助動詞などの働きについて理解を深めている。(2年(1)オ) [主]・進んで単語の活用、助詞や助動詞などの働きについて理解し、学習課題に沿って学んだことを話や文章の中で生かそうとしている。
言葉〈漢字道場〉 間違いやすい言葉	1	・読み間違えたり書き間違えたりしやす い言葉について理解し、漢字を文や文 章の中で使う。	[知技]◎読み間違えたり書き間違えたりしやすい言葉について理解し、漢字を文や文章の中で使っている。 [主]・進んで間違いやすい漢字について理解し、学習課題に沿って学んだことを文や文章の中で生かそうとしている。

読む〈詩（詩の言葉）〉 レモン哀歌	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・効果的な表現に注意して詩を読む。</li> <li>・詩に描かれた生と死について考え、感想を持つ。</li> </ul>	<p>[ 思判表 ] ◎「読むこと」において、詩の展開や表現の仕方について評価している。</p> <p>[ 思判表 ] ◎「読むこと」において、詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間や社会について、自分の意見を持っている。</p> <p>[ 主 ] ・進んで効果的な表現に注意して読み、学習課題に沿って感想をまとめようとしている。</p>
読む〈詩（詩の言葉）〉 生ましめんかな	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・効果的な表現に注意して詩を読む。</li> <li>・詩に描かれた生と死について考え、感想を持つ。</li> </ul>	<p>[ 思判表 ] ◎「読むこと」において、詩の展開や表現の仕方について評価している。</p> <p>[ 思判表 ] ◎「読むこと」において、詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間や社会について、自分の意見を持っている。</p> <p>[ 主 ] ・進んで効果的な表現に注意して読み、学習課題に沿って感じたことや考えたことをまとめ、話し合おうとしている。</p>
読む〈読書〉 最後の一句	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文学作品を読み、人間や社会について考える。</li> </ul>	<p>[ 知技 ] ◎自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。</p> <p>[ 思判表 ] ◎「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間や社会について、自分の意見を持っている。</p> <p>[ 主 ] ・進んで読書の意義について理解を深め、これまでの学習を生かして、さまざまな本を読もうとしている。</p>